

令和5年度

劇場・音楽堂等活性化・ネットワーク強化事業

(地域の中核劇場・音楽堂等活性化)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人長岡市芸術文化振興財団	
施 設 名	長岡リリックホール	
助 成 対 象 活 動 名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 (総 額)	21,884	(千円)
	公 演 事 業	15,572 (千円)
	人 材 養 成 事 業	2,568 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	3,744 (千円)

1. 事業概要

(1) 令和5年度実施事業一覧【公演事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	coba tour 2023 サムライ アコーディオン 弾きすて御免!	令和5年4月29日	出演/coba、ほかバンドメンバー 曲目/Katana Soul、魔法の子守唄、 Spoil me、Crimson Strings、ほか	目標値	360
		長岡リリックホール シアター		実績値	409
2	森麻季&錦織健 デュオ・リサイタル	令和5年5月14日	出演/森麻季、錦織健、山岸茂人 曲目/ヴェルディ/歌劇「椿姫」よ り“乾杯の歌”、ほか	目標値	560
		長岡リリックホール コンサートホール		実績値	591
3	(中止)		要望額が応募条件に達しておらず、 取り下げたもの	目標値	
				実績値	
4	Masumi Yamamoto JAZZ LIVE with Trevor Lawrence	令和5年6月9日	出演/Masumi Yamamoto ほか 曲目/Monks Dream、My Favorite Things、Original One、ほか	目標値	360
		長岡リリックホール シアター		実績値	371
5	澤和樹プロデュース「ど うする太郎 ~音楽ってこ んなに楽しい~」	令和5年6月25日	出演/澤和樹、葉加瀬太郎、ほか 曲目/エトピリカ、リベルタンゴ、 J. ブラームス/弦楽六重奏曲、ほか	目標値	1,200
		長岡市立劇場 大ホール		実績値	1,355
6	(中止)		要望額が応募条件に達しておらず、 取り下げたもの	目標値	
				実績値	
7	万作の会 狂言公演	令和5年9月20日	演目/小舞「鉄輪」、川上、縄綱 ※関連企画として「小学生対象狂言 ワークショップ」を実施	目標値	400
		長岡リリックホール シアター		実績値	423
8	挟間美帆“m_unit” 日本ツアー2023	令和5年9月24日	出演/挟間美帆、m_unit 曲目/挟間美帆/アビーム、エクソ プラネット組曲、ほか	目標値	1,200
		長岡市立劇場 大ホール		実績値	616
9	(中止)		要望額が応募条件に達しておらず、 取り下げたもの	目標値	
				実績値	
10	(中止)		要望額が応募条件に達しておらず、 取り下げたもの	目標値	
				実績値	
11	文学座公演「逃げろ! 芥 川」	令和5年11月12日	演出/西川信廣 出演/石川 武、瀬戸口郁、若松泰弘、 郡山冬果、鹿野真央、ほか	目標値	360
		長岡リリックホール シアター		実績値	299
12	オペラ「長岡物語~戊辰 の苦悩をのりこえて」	令和5年11月19日	台本/片野大輔、 作詞・作曲/畠山徳雄、星野勝彦 出演/鈴木至門、佐藤晶子、ほか	目標値	1,000
		長岡市立劇場 大ホール		実績値	832
13	(中止)		要望額が応募条件に達しておらず、 取り下げたもの	目標値	
				実績値	

14	(中止)		要望額が応募条件に達しておらず、 取り下げたもの	目標値	
				実績値	
15	長岡ダンスフェスティ バル	令和6年1月21日 長岡市立劇場 大ホール	出演／県立長岡大手高等学校、新潟 明訓高等学校、新潟清心女子高等学 校、Chibi Unity、DJ松永、ほか	目標値	1,200
				実績値	1,021
16	東京フィルハーモニー交 響楽団 長岡特別演奏会	令和6年3月24日 長岡市立劇場 大ホール	指揮：アンドレア・パッティストー ニ、管弦楽：東京フィルハーモニー 交響楽団、ソプラノ：木下美穂子、 メゾソプラノ：中島郁子、ほか	目標値	1,057
				実績値	1,158

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(2) 令和5年度実施事業一覧【人材養成事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	文学座 演劇活性化事業	令和5年6月13日～ 令和6年2月18日	舞台美術講師／乗峯雅寛 演劇WS講師／西川信廣、瀬戸口郁 高橋ひろし、植田真介、日景温子、 石森咲妃、松浦慎太郎、ほか	目標値	参加者数 ／330
		長岡リリックホール 市内小学校		実績値	参加者数 ／330
2	長岡少年少女合唱団育 成事業	通年	週2回の定期練習の他、定期演奏会、 新潟県少年少女合唱団合同演奏会の 開催、長岡市内イベント等への出演 など	目標値	入場者 ／1,000 参加者数 ／50
		長岡リリックホール・ 第1スタジオほか		実績値	入場者 ／918 参加者数 ／34
3	ジュニア・ミュージカ ル育成事業	通年	7月にオリジナルミュージカル「は じめて王国」の上演。12月「リリッ ク・ジュニアフェスティバル2023」 に出演。年間を通して、レベルアッ プに向けた指導を行います。	目標値	参加者数 ／45
		長岡リリックホール・ 第1スタジオほか		実績値	参加者数 ／26
4	ジュニアストリングオ ーケストラ育成事業	通年	月2回の定期練習の他、成果発表公 演及び当財団の他事業への出演など	目標値	入場者数 ／100 参加者数 ／30
		長岡リリックホール・ 第1スタジオほか		実績値	入場者数 ／120 参加者数 ／30
5	東京フィルハーモニー 交響楽団 中学生楽器ワー クショップ	令和6年3月25日	対象：中学校吹奏楽部員 楽器：フルート、オーボエ、クラリ ネット、バス、ファゴット、サクソ フォン、ホルン、打楽器、ほか	目標値	参加者数 ／200
		市内中学校		実績値	参加者数 ／188
6	仲道郁代プロデュース 第5回「三善晃記念 響き 合うピアノ」	令和6年2月10日 令和6年2月11日 令和6年3月16日 令和6年3月17日	対象／15歳～30歳(オーディション により選抜) 講師／仲道郁代、高見秀太郎 内容／講座・ワークショップ、マス タークラス、演奏会	目標値	入場者数 ／250 参加者数 ／20
		長岡リリックホール コンサートホール		実績値	入場者数 ／270 参加者数 ／21
7	小山裕幾フルートワー クショップ	令和6年1月13日 令和6年1月14日	対象／中学生から高校生まで 講師／小山裕幾(フィンランド放送 交響楽団首席フルート奏者)、泉真由 (琉球フィルハーモニックオーケス トラ客演首席フルート奏者)	目標値	参加者数 ／30
		長岡リリックホール コンサートホール		実績値	参加者数 ／36
8	1日限りの吹奏楽部 in 長岡	令和6年2月24日	対象／一般(吹奏楽経験者) 内容／吹奏楽ワークショップ 講師／高橋秀典(指揮者)、ほか 曲目／スーザ／士官候補生、ほか	目標値	参加者数 ／50
		長岡リリックホール 全館		実績値	参加者数 ／51

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和5年度実施事業一覧【普及啓発事業】

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数(人)	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	リリック子ども音楽館 0歳からの東京フィルわくわくコンサート	令和5年7月17日	指揮／横山奏、 管弦楽／東京フィルハーモニー交響楽団 司会／塚本江里子 曲目／R. モーツァルト／おもちゃのシンフォニー、ほか	目標値	入場者数 ／600
		長岡リリックホール コンサートホール		実績値	入場者数 ／518
2	東京フィルアウトリーチ コミュニティコンサート	令和5年5月29日～ 令和5年10月11日	出演／東京フィルハーモニー交響楽 団(室内楽編成) 曲目／モーツァルト／鏡、ほか	目標値	参加者数 ／820
		長岡市内公共施設等		実績値	参加者数 ／1,155
3	地元アーティスト 学校 アウトリーチ	令和5年5月26日～ 令和5年11月16日	プログラム／室内楽、声楽、 和楽器(箏)、打楽器(マリンバ)、 民族楽器(馬頭琴) 出演／アンサンブル・オビリー(室内 楽)、池田聡子(箏)、ほか	目標値	参加者数 ／1,200
		市内小中学校		実績値	参加者数 ／1,860
4	0歳からのミニコンサ ート	令和6年2月16日	出演／五十嵐郊味(ソプラノ)、高橋 朝子(ピアノ)ほか 曲目／春の童謡メドレー、ほか	目標値	入場者数 ／100
		長岡リリックホール・ 第1スタジオ		実績値	入場者数 ／79
5	リリックホワイエコンサ ート	令和5年10月2日～ 令和5年10月3日	出演／佐藤晶子(ソプラノ)、鈴木至 門(バリトン)、金子陽子(ピアノ)、 片野大輔(チェロ)、大関博明(ヴァ イオリン)、ほか 曲目／ふるさと／G線上のアリア、 セレナーデ(ハイドン)ほか	目標値	入場者数 ／200
		長岡リリックホール・ ホワイエ		実績値	入場者数 ／151

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

2. 自己評価

(1) 妥当性

自己評価
ミッション（社会的役割等）・ビジョンや地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。
<p>長岡リリックホールは、元芸術顧問・故 三善晃氏の提言「みんなのホール」をコンセプトに、地域に開かれた芸術文化の拠点施設であり、事業の中心に据えているのは、「まちづくりはひとづくり」という人材育成の大切さを説いた長岡藩大参事・小林虎三郎の「米百俵」の精神に基づく、人材育成事業としている。年間を通じて幅広い年齢層の市民に、様々な会場で市民と交流しながら芸術文化に触れる機会を提供した。さらに、合唱、ミュージカル、弦楽器の分野でジュニア育成事業を推進し、子供たちの情操・人材育成に力を入れて事業を組み立てた。</p> <p>演劇、音楽、伝統芸能など、偏ることのないよう事業計画を行い、鑑賞の機会や参加の機会を予定どおりに提供できた。</p> <p>（主な事業の組み立て）</p> <p>○公演事業／市民協働事業の推進</p> <p>令和5年度は、当財団が管理運営を行っている長岡市立劇場の開館50周年を迎え、市民協働による様々な事業を展開した。地域の芸術文化のパートナーとして、これまで積み重ねた地元のネットワークを活用し、オペラ、ダンス、合唱など、様々なジャンルの市民参加型公演を実施した。</p> <p>○人材養成事業／ジュニア育成事業の推進</p> <p>未来を担うジュニア世代の情操と人材育成のために、芸術文化に親しむ場と技術向上の機会を提供した。また、プロのアーティストと共演する機会を提供し、出演者等との交流や仲間づくりを推進した。</p> <p>○普及啓発事業／【unlimited】を意識し、多世代が等しく芸術に触れる機会の推進</p> <p>乳幼児から高齢者、障害を持った人や外国人等、さまざまな人がストレスなく芸術文化を楽しみながら鑑賞できるよう、様々なジャンルの公演事業を行った。また、青少年招待事業により、家庭環境や経済的にホールへ来ることができない人を支援した。</p>
助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。
<p>【文化的意義】（特徴的な事業を抜粋）</p> <p>●公演事業番号5「澤和樹プロデュース「どうする太郎 ～音楽ってこんなに楽しい～」」では、第10代東京藝術大学長を務めた澤和樹がプロデュースし、多方面で活躍する箭内道彦（東京藝術大学デザイン学科教授）が構成を務めるなど、長岡市民のための特別プログラムとして文化的高水準の事業を実施。</p> <p>●公演事業番号12「オペラ「長岡物語」」では、地域の題材（米百俵の故事）を活用し、台本からキャスト、演奏家など、長岡に縁のある人材により制作した。結果として、郷土愛を深めることができ、文化的意義のある公演となった。</p> <p>【社会的意義】（特徴的な事業を抜粋）</p> <p>●人材養成事業番号6「仲道郁代プロデュース 第5回「三善晃記念 響き合うピアノ」」では、単なるピアノ演奏の技術向上のみではなく、仲道郁代を講師として、音楽による教育、福祉、地域社会に資するものとして若手演奏家の育成に努めました。</p> <p>【経済的意義】</p> <p>●当財団の主催事業におけるアンケート調査で年度内のリピーター率を調査した結果、はじめて来館したと回答した割合が前年度のほぼ倍となり、今年度は若者や新しい客層が来館し、消費の拡大につながった。特に長岡市立劇場で実施した開館50周年の記念事業が大きな注目を集めたことが主な理由に挙げられる。</p>

(2) 有効性

自己評価

目標を達成したか。

【公演事業 目標①】賑わいの拠点施設として、当館への来場者の年度内リピーター率 10%増を達成させる。

【指標 ①】来場者へのアンケート調査で、当館への芸術鑑賞での年度内来館リピーター率を前年度から 10%増に設定

【実績 ①】来場者へのアンケート調査で、年度内のリピーター率を調査した結果、2 回目の来館と回答した割合は 31.2%となり前年度の 42%を下回る結果となり、未達成となった。

はじめて来館したと回答した割合が前年度のほぼ倍となり、今年度は若者や新しい客層が来館したことが伺えます。特に長岡市立劇場で実施した開館 50 周年記念の様々なジャンルの事業により、これまでの来場者以外の来場が増加したものと考えます。

【公演事業 目標②】文化創造の拠点施設として、市民参加型事業を実施する中で参加者の参加満足度（充実度）80%を達成させる。

【指標 ②】当該事業の参加者へのアンケート調査で事業内容への参加満足度（充実度）を 80%に設定

【実績 ②】当該事業の参加者へのアンケート結果で「大変よかった」、「良かった」と回答した人が全体の 100%となった。（達成）

長岡市立劇場の開館 50 周年記念事業として、3つの大型市民参加型事業を開催したが、いずれの参加者からも高い評価をいただくことができた。長期間にわたる稽古などを通じ、制作側との信頼関係が深まり、意見交換をしながら公演を創り上げたことなどが結果に表れたものと推測しています。

【人材養成事業 目標①】ジュニア育成事業における参加者の次年度への継続参加率 70%を達成させる。

【指標 ①】当該事業における参加者の次年度への継続参加率 70%に設定

【実績 ①】当該事業における参加者の次年度への継続参加率は「事業番号 2」では 87%、「事業番号 3」では 80.76%、「事業番号 4」では 75%となった。（達成）

該当する事業において、参加者の次年度への参加率は、いずれも目標を上回った。事業内容などに満足いただき、継続して芸術文化を学びたいと考える児童、生徒、保護者が増えてきたと考えている。

【人材養成事業 目標②】事業参加者における参加満足度（充実度）80%を達成させる。

【指標 ②】当該事業の参加者へのアンケート調査で事業内容への参加満足度（充実度）を 80%に設定

【実績 ②】当該事業の参加者へのアンケート調査（達成）でいずれの事業も 90%以上の回答を得た。

該当する事業において、事業参加者における参加満足度は平均 96.6%となり、個々の事業満足度においても、全事業が 90%以上となっており、事業内容やサポート体制に高い評価を得ることができた。

【普及啓発事業 目標①】当該事業を体験した参加者が事業を通じて、芸術文化事業の継続体験を希望する割合 70%を実現させる。

【指標 ①】参加者へのアンケート調査で芸術文化事業の継続体験を希望する割合を 70%に設定

【実績 ①】参加者へのアンケート調査で低い数字で「事業番号 3」の 76.90%、高い数字で「事業番号 4」の 100%、平均で 91.8%の方が継続体験を希望した。（達成）

全普及啓発事業を対象にアンケート調査による設問を設けたところ、高い割合で継続体験を希望すると回答している。これは、事業を体験した参加者が内容に十分に満足し、次回への期待感から回答したものと推測できるため、うれしい結果となった。「事業番号 3」の学校アウトリーチは、全体の中ではやや数字が劣るが、継続的に様々なジャンルを体験することで、改善できるものと考えている。

【普及啓発事業 目標②】当該事業を体験した参加者が事業を通じて、学校の授業以外でも芸術文化を学びたいと希望する割合 70%を実現させる。

【指標 ②】アンケート調査で学校の授業以外でも芸術文化を学びたいと希望する割合を 70%に設定

【実績 ②】事業番号 3「地元アーティスト 学校アウトリーチ」の参加者にアンケート調査による設問を設けたところ、70.20%の児童・生徒が、学校以外でも芸術文化を体験してみたいと回答している。（達成）

芸術分野よりもスポーツに関心のある児童や生徒もいる中で、芸術分野に興味を持ち、学びたいと考える割合がある程度高いものであったことは、将来の当市における芸術振興に発展に期待が持てる結果となった。

(3) 効率性

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。

「公演事業」、「人材養成事業」、「普及啓発事業」のそれぞれの事業区分において、事業期間は適切で、当初の計画のとおり進行できたと評価している。

【公演事業】

令和5年度の公演事業は市民参加の制作公演を多数実施。事業番号12「オペラ長岡物語」では、市民参加者の負担にならない範囲で且つ作品のクオリティを求めた約15日間の演出稽古を組み、集中した稽古時間を過ごすことで、アンケートによる参加者の満足度も非常に高く、公演の来場者からは再演を期待する声も多く届いている。また、事業番号16「東京フィルハーモニー交響楽団 長岡特別演奏会」では、市民公募による合唱団を結成。指揮にイタリア出身で東京フィル首席のアンドレア・バッティストーニを招へいし、イタリアオペラの名曲の数々を歌い上げた。当事業も約12日間の練習日（市民による自主練習を除く）のほか、バッティストーニによる音楽稽古など、市民参加者のモチベーションを保ちながら、本番へ向けて良い準備をすることができたと評価する。

【人材養成事業】

事業番号2、3、4のジュニア育成事業においては参加者のモチベーションを維持するため、約3か月に1回の公演出演の場を設けるなど考慮しながら、講師と入念に打ち合わせを行い、練習日程と稽古内容を構築した。こちらも参加者へのアンケートで高い満足度を得ており、適切に事業を遂行することができたと評価する。

【普及啓発事業】

事業番号3「地元アーティスト学校アウトリーチ」では、33日間を要して、33校の小中学校を訪問し、未来ある子どもたちに「本物の芸術体験」の場を提供した。コロナ禍では鑑賞中心の内容で実施していたが、令和5年度は楽器の演奏体験や一緒に歌ってみるなどの内容を再開し、好評を得ることができた。年々、申込件数も増えてきており、芸術文化活動の「普及啓発」という点や当財団のビジョンの一つである「次代を担う子ども達へ、芸術文化による社会的サポート」の推進に大きく寄与する事業となっている。

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

	支出（千円・％）			収入（千円・％）		
	要望時	決算額	増減率	要望時	決算額	増減率
公演事業（16事業）	58,394	61,566	105.43%	33,706	28,278	83.90%
人材養成事業（8事業）	6,700	8,762	130.77%	1,520	1,565	102.93%
普及啓発事業（5事業）	9,247	11,257	121.75%	600	549	91.50%
合計	74,341	81,585	109.74%	35,826	30,391	84.83%
※要望時と実績報告時における助成対象経費を比較				※収入は自己負担金を除いたもの		

【事業費の執行状況について】

「公演事業」、「人材養成事業」、「普及啓発事業」のいずれの事業も要望時の経費を超過する結果となった。令和5年度は制作事業を多く実施した点で、クオリティに拘るあまり、経費が嵩んでしまったことが理由に挙げられる。積算が甘い部分があったといわざるを得ないと反省している。

収入においても、予定額に達しない事業があり、数値に影響している。期待していた公演のチケット販売が思うように進まなかったことが原因であるが、目標の80%~120%内に収まったことは一定の評価をしたい。

(4) 創造性

自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

【劇団文学座】

平成19年度から長岡地域の演劇文化の活性化を目的とした「演劇活性化事業」の実施に際し、地域拠点契約を締結している。

<定期公演>（公演事業番号11）

令和5年度は、畑澤聖悟の作品を日本を代表する演出家である西川信廣が務め、史実である芥川龍之介と菊池寛の長崎旅行を中心に描いた芥川龍之介の書簡、菊池寛「マスク」「長崎への旅」、志賀直哉「流行感冒」、与謝野晶子「感冒の床から」などを引用し、大正の文学者たちから見た100年前のパンデミック「スペイン風邪」を通して、現代社会をあぶり出す意欲作を披露した。演出の西川信廣や出演した瀬戸口郁、若松泰弘は、長岡市での演劇ワークショップや市民劇での演出、共演実績もあり、特別企画としてアフタートークを実施。終演後は地元の演劇関係者らと演劇談義で盛り上げるなど、文化の拠点施設としての役割を果たすことができたと評価する。

<演劇活性化事業>（人材養成事業番号1）

劇団「文学座」が持つ手法を活用した人材養成事業を実施しています。舞台芸術活動者の育成と演劇を通して地域に活力を与える事業としています。当ホールの環境を最大限に生かした演劇ワークショップや朗読会のほか、小学校などに出向き、演劇の手法を用いた多様な地域事業を実施し、コミュニティや社会への参加を促進していきます。

【事業内容①】舞台美術ワークショップ 【講師】文学座／乗峯雅寛

【事業内容②】文学座俳優による小学校「朗読会」 【出演】文学座演技部／植田真介、日景温子、石森咲妃

【事業内容③】文学座俳優による演劇ワークショップ

【講師】（9月）文学座演出部／西川信廣、瀬戸口郁 （2月）文学座演技部／高橋ひろし、日景温子、ほか

【東京フィルハーモニー交響楽団】

平成27年より東京フィルハーモニー交響楽団と音楽を通じて相互に協力し合い、長岡市における文化の振興と、市民の福祉の増進を図ることを目的として事業提携協定を締結しています。

<定期公演>（公演事業番号16） 令和5年度の事業内容は（自己評価のとおり）

<人材養成事業>（人材養成事業番号5）

<普及啓発事業>（普及啓発事業番号1、2）

事業提携の一つとして、市民を対象とした音楽の啓発や青少年の育成に努めることとしており、中学校訪問（申込制）による楽器ワークショップや地域への訪問コンサートなどを継続的に実施しています。

中学校訪問による楽器ワークショップでは、受講した生徒や教員への満足度調査で、訪問した12校から「とても良かった」または「良かった」（4段階評価）の割合合いが100%という好結果を得ることができ、継続的な受講を希望する声も多くなっている。また、0歳から鑑賞可能な「東京フィルこども音楽館」（普及啓発事業番号1）では、来場者へのアンケート調査で「継続的な体験を希望する」と回答した割合が92%、「東京フィルコミュニティコンサート」（普及啓発事業番号2）でも来場者へのアンケート調査で「継続的な体験を希望する」と回答した割合が94.10%となっており、音楽分野の裾野の拡大と多世代、他地域へ音楽を届けるといふ当財団の役割を果たすことができた。

他にも協力アーティストである澤和樹（第10代東京藝術大学長）や仲道郁代（ピアニスト）より助言を得ながら事業を展開しています。

自己評価

地域の実演芸術等の振興など、地域の文化芸術の発展につながった（と認められる）か。

令和5年度は、長岡市立劇場開館50周年という大きな節目の年であり、助成対象事業を筆頭に年間を通して様々な記念事業を開催しました。劇場の長い歴史を活かした創造性のある特別な舞台により、多くの市民から本物の舞台芸術を鑑賞、創造、発表していただく事業を計画し、それぞれの事業が地域の文化芸術の発展につながった。

◎本物の舞台芸術を提供

公演事業番号5「澤和樹プロデュース どうする太郎～音楽ってこんなに楽しい～」では、当財団の設立当初から長岡市の文化醸成に尽力されている第10代東京藝術大学長を務めた澤和樹がプロデュースし、多方面で活躍する箭内道彦（東京藝術大学デザイン学科教授）が構成を務めた。澤和樹と師弟関係にある葉加瀬太郎をメイン奏者に迎え、クラシックからポップスまでジャンルを超えた音楽の楽しさを追求する演奏会を実施。他にも豪華演奏者を迎え、他では聴くことができない唯一無二の公演を実施した。来場者からはジャンルに囚われない、本当の音楽の楽しさを感じることができたと大変好評を得た。

◎地元のアーティスト、市民、高校生ら、幅広い年代が参加した制作事業

公演事業番号12「オペラ長岡物語」は、これまで当財団が築いてきた人脈と運営ノウハウを活かし、地元縁のアーティストを起用したオペラ公演を開催した。長岡の芸術振興を支えてきたキャストを起用することで、長岡の音楽文化の発展の軌跡を改めて来場者に認識いただくと共に、地元アーティストや市民と一体となって創り上げた、長岡の歴史を盛り込んだ脚本により、郷土への理解と親しみを深めてもらうことができたと評価する。

公演事業番号15「長岡ダンスフェスティバル」は、新潟県内で活躍する高校ダンス部、新潟を拠点に世界で活躍するCHIBI UNITY、世界一のタイトルを持つDJで長岡市出身のDJ松永らによる公演で、多くの若者が鑑賞に来館しました。前半は高校ダンス部が熱意あふれるパフォーマンスを披露。数々の世界大会で優勝しているダンサーのKENZOから直接アドバイスを受け、高校生たちには多くを学べる場となりました。若者の人材育成事業としての役割も担っており、出演団体がプロと交流できる場を設け、今後の活動の発展につなげることができたと評価する。

事業番号16「東京フィルハーモニー交響楽団 長岡特別演奏会」は、公募により結成された「長岡フェニックス合唱団」との共演事業を開催し、声高らかに名曲の数々を歌い上げ、開館50周年を市民と祝う機会とし、これまで様々な事業で高めてきた当市における合唱を全国に発信した。事業提携を締結する東京フィルハーモニー交響楽団の豊富な経験を活かして演奏会に向けた充実した稽古体制を確保することで、長岡の合唱レベルの更なる向上にもつながったと評価する。

このように、当財団の【ビジョン】の一つである「地域の芸術文化のパートナーとして、市民協働によりコミュニティの形成と促進」を推進するため、多世代が等しく芸術文化に触れる機会を提供し、未来を見据えた事業の実施により、新規来場者の増加（前年度から14.6%増）など地域の芸術文化の醸成につながった。

【新聞掲載】

公演事業4／新潟日報（令和5年6月22日）、普及啓発事業2／新潟日報（令和5年10月31日）

人材養成事業2.3.4／新潟日報（令和5年12月20日）、公演事業番号15／新潟日報（令和6年1月22日）

公演事業番号16／新潟日報（令和6年3月29日）

上記等にレビュー記事が掲載され、当財団の事業内容について高評価を得ている。

(5) 持続性

自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

(職員の雇用状況)

- ・ 正規職員 10 名と長岡市派遣職員 3 名の計 13 名について、全職員 29 名に対する割合は 44.8%となっている。正規職員については、勤続 20 年 3 名など 10 年以上勤続する職員が 7 名となっており、臨時職員については、近年に新規採用した任期付き職員が多く、平均勤続年数が短くなっている。

(人材の育成状況)

- ・ 勤続経験を積むことにより、事業運営や施設管理のノウハウの蓄積に努めている。また、総務課、事業課、長岡市立劇場の 3 課の異動を経験することにより、組織全体の業務把握ができる人材を育成している。
- ・ 各種派遣研修（顧客満足を高めるマナー研修、アートマネジメント研修会等）を継続実施している。

(今後の計画)

- ・ 経験の浅い職員については、業務別の職場内研修を実施することで、組織全体の業務把握を進めていく。
- ・ 各種派遣研修は、正規職員の熟練を図るため、専門的な研修への派遣を含め継続実施していく。
- ・ アートマネジメント研修をホール内で実施し、スタッフの意識向上と運営方針の浸透を図っていく。
- ・ 業務ごとに主任・副任を設け、責任をもって継続実施することにより、モチベーションの向上と実施スキルの継承を図っていく。
- ・ 人事考課による個人の特性に応じた育成を行うほか、正規職員については業績を確認して定期昇給を行っていく。

(劇場・音楽堂館のネットワークの形成)

- ・ 事業の組み立てについては、県内の他の文化施設やマスコミ等への情報収集を行うことにより、同種の企画が同時期に被らないように、配慮している。

(他団体との連携)

- ・ 長岡市の人材育成を掲げる（公財）長岡市米百俵財団との連携により、親子を対象に鑑賞支援（チケット代金の補助）を行い、鑑賞者の裾野の拡大を図ると共に、若い年齢層の取り込みに努めている。

(財源の確保)

- ・ 協賛金については、協賛者数や協賛金額について目立った傾向は見られない。コロナ禍による業績の悪化を理由に協賛金額の減額もあったが、当財団事業への継続的な支援のスタイルは変わらず、企業協賛が定着してきている。

(PDCAのサイクル)

- ・ 事業の実施や利用者アンケートにより、事業によって期待する成果が得られたかどうか、市民がサービスの内容や質に満足しているかどうか、円滑な運営が行われているかどうか、経営の効率化が図られているかどうか、といった観点・視点から点検を行い改善を図っている。その過程を通して、課題を把握し、具体的な改善策を検討していくことで機能強化につなげており、組織として向上してきている。定期的に運営会議を設け、課を越えて、情報共有や問題解決に努めている。